



津山市教委から版



津山市教育委員会だより 平成25年12月 第14号

教育委員長

就任「あじつ」



居原田洋子
教育委員長

日頃より皆様には、教育行政の推進に対しまして、ご協力をいただき心よりお礼申し上げます。

10月1日付けで教育委員長に再選任され、また、森尚美委員が教育委員長職務代理者に指定され、その使命と責任の重大さを強く感じています。

津山市教育委員会では、本年3月に策定した「津山市学校力向上推進プラン」に基づき、「学力向上」「生徒指導・不登校支援」「特別支援教育」を柱として、学校教育の充実及び学校力の向上に向けた施策を実施しています。

また、学力については、今年度実施された全国及び岡山県の「学力・学習状況調査」結果をみると、やや上向き傾向にあります。これは各学校が、この調査結果を踏まえた改善プランに基づいて、すべての子ども

たちに「確かな学力」を保障するための落着いた学習環境の整備を行ってきたことや、特色ある学校づくりを進めてきたことによるものです。

このことが、着実に結果に結びついていくものと確信しています。

引き続き、津山市の子どもたちの「生きる力」を育むため、学校と教育委員会が一丸となつて取り組んでまいりますので、地域の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

教育委員が各種研修会に出席しました

11月13日倉敷市に於いて、平成25年度岡山県市町村教育委員会連絡協議会研修会が、11月20日鏡野町に於いて、美作地区市町村教育委員会連絡協議会教育委員秋季研修会が開催され、出席しました。

岡山県教育委員会から学力の現状と問題行動についての取り組みの説明の後、「学力向上や問題行動」「落ち着いた学習環境づくり」「地域との連携による学習

支援」の3部会に分かれ、県教育委員と市町村教育委員が教育行政の施策について意見交換を行いました。

また、青年海外協力隊としてケニアに赴任された倉敷市立連島中学校の先生のご講演を拝聴いたしました。現実的課題への実践的取り組みに対して多面的、総合的に探求し、支援する体制の構築や、学校と家庭地域社会との「つながり」を図りながら、実践につなげることが重要であると感じました。

幼稚園教育研究大会の開催 ～院庄幼稚園～

平成25年度岡山県国公立幼稚園研究会美作支部幼稚園教育研究大会・平成24・25年度津山市幼稚園教育研究大会」を10月30日に院庄幼稚園で開催しました。

保育所(園)・幼稚園・小学校・行政関係者等147名の参加により開催され、岡山大学大学院住野好久教授、美作大学芦田愛五准教授をはじめ、各担当課職員の指導助言を受けながら、参加者全員で研修を深めました。院庄幼稚園では、保育者

が一人一人の子どもの姿から個の育ちを捉えることを大切にしています。発達や特質に応じた仮説を立て、具体的な援助や環境構成を工夫して保育実践に努めました。

当日は、保育者の寄り添う関わりによって、進んで人とつながりながら生き生きと活動する子どもの姿が見られました。

「子どもは自ら選んだ課題(興味・関心)で学ぶこと」や「ねらいを達成するために、子どもの主体性と保育者の意図で活動を創り出すこと」が明らかになりました。

また、本年3月に策定した「津山市における就学前教育・保育カリキュラム」を活用し、見通しをもった指導に取り組むことが出来ました。



工夫を凝らした実践保育を研修

ホームページに掲載中
 全国及び岡山県学力・
 学習状況調査の結果

津山市では学力向上に向けた取組を進めています。

4月に実施した「全国及び岡山県学力・学習状況調査」の結果については、市民の皆さんへ検証結果をお知らせし、説明責任を果たす必要があると考えています。

そのため、本市の状況及び各小・中学校ごとの改善プランをホームページに掲載しています。

津山市のホームページの検索窓に「学力・学習状況調査」と入力してご覧ください。



平成25年度学力向上げんぼプロジェクト研究支援事業
 ～東小学校の実践研究～

津山市立東小学校は、平成25年度学力向上げんぼプロジェクト研究支援事業の研究指定を受け、実践研究に取り組んでいます。

10月29日には、研究主題を「共に学び 喜びと達成感を味わうことのできる授業づくり」と題して、国語科における思考力・表現力を高めるための指導法について授業公開が行われました。

授業実践における「学び合い」をテーマにした研究は、学校現場の関心も非常に高く、市内外から70名を超える参加者がありました。大学の研究者や大学附属小学校の実践者をお招きし、より広い視点からのアプローチを行っており、研究の方向性や深化をしつかりと見据えたものとなっています。

参加者からは「校内全体の雰囲気良く、子どもが安心して学んでいる」「全年全学級公開は先生方の真

摺な取組を感じた」「授業方法や学び方が共有化されて研究が積み上がっている」等、学校全体の研究姿勢を高く評価する感想が多く寄せられました。



積極的に授業に取り組む子どもたち

子どもの実態をもとに、確かな実践の手ごたえを踏まえて作成された「東小国語科授業スタイル（物語文・説明文）」は、本研究の成果として、今後の授業実践につながる学校の大きな財産となりました。

岡山県総合教育センター
 情報教育研修講座
 ～院庄小学校～

院庄小学校では、岡山県総合教育センター情報教育研修講座と津山市小・中学

情報教育研修講座を兼ねて11月22日、「自ら考え、伝え合う授業作り」～言語活動の充実とICTの活用～を研究主題に授業公開が行われました。

市外からの参加者を含め、津山市小・中学校から各校1名が参加する中、第2学年の算数科「かけ算」、第5学年の社会科「日本の工業の特色」の授業公開がありました。

教材提示装置やフラッシュ型教材を活用し、児童の学習意欲をかき立てるとともに基礎基本の確実な習得を目指した授業が行われました。



教材提示装置を活用した授業

また、その後の授業反省会では、研究主題に則して焦点化したワークショップ型授業反省会が行われ、院

庄小学校教職員と参加者による活発な協議が行われました。



授業後の教職員による活発な協議

最後に、今年度、院庄小学校に関わっていただいた岡山県総合教育センター片山指導主事の講義では、「持続可能で、日常的なICT活用の意義」と題して、ICTの活用について研究が深まる講義をいただいたとともに、院庄小学校の「凡事徹底」による日々の指導の成果についてもお話しいただきました。

参加者にとって、院庄小学校の学校力を感じ、今後の実践の参考となる取組を吸収できる有意義な研修会となりました。



クローズアップ 市教委

平成26年2学期稼働
「(仮称)津山市東部学校
給食センター」建設中

津山市学校給食施設等整備計画に基づき、市内草加部地内に(仮称)津山市東部学校給食センター(鉄骨造一部3階建て、延床面積3,779.44㎡、5,500食/日、ドライシステム)を建設しています。



(仮称)津山市東部学校給食センター

平成26年の2学期から、市内東部地域へ学校給食を提供するとともに、新センターのみに設置される炊飯ラ

インにより、市内全小・中学校へ米飯を供給することになっていきます。

新センターでは、食物アレルギーがある子どもたちへの対応食を調理する専用調理室や、同時に2献立の調理を可能とする作業ラインを設置するなど、現在、改修中の戸島学校食育センターとともに市内の児童・生徒に安全・安心でおいしい給食をお届けする準備を着実に進めていきます。

学校給食事業の一層の進展に全力を尽くしてまいりますので、関係者皆様の更なるご理解とご協力をお願いいたします。



公民館等を活用した
「津山市地域連携携型家庭教育支援事業」

今年度、公民館や学校、地域が協働して進める「公民館等を活用した津山市地域連携携型家庭教育支援事業」を実施しています。

その一つとして、11月24日(日)に二宮公民館で、親子で考えるメディアとの付き合い方講座を開催しました。まず、松尾直光小児科医院長から、赤ちゃんが人との関わりを通じてコミュニケーションの力を身につけることや、テレビやゲームなど一方的なメディアでは、その能力を十分に伸ばせないことが紹介されました。



筒井先生によるメディアの注意点の講座

続いて、環太平洋大学の筒井愛知先生から、インターネットやケータイ、家庭用のゲーム機などに潜む危険性や、依存し過ぎると生活に深刻な影響を与えることなども紹介され、保護者や地域の方々が熱心に聴き入っていました。

「親子陶芸教室」
楽しく創作活動

内閣府の定める家族の週間(11月10日、23日)に合わせ、11月16日(土)に、勝北陶芸の里工房、久米ふれあい陶芸センターで、親子陶芸教室を開催しました。親子で協力して、コーヒークップやお皿、置物など独創的で素晴らしい作品を次々と完成させ、ものづくりの楽しさを堪能しました。作品は、しっかり乾燥させた後、電気窯で焼き上げます。親子で作った世界に一つの素敵な作品、焼き上がりが楽しみです。



親子で楽しみながら作りました

国指定重要文化財に指定
「本源寺」

津山市小田中所在の本源寺が、8月7日付けで国指定重要文化財に指定されました。本源寺は臨済宗妙心寺派の寺院で、津山城主森家の菩提寺として、現在の境内が整備されました。



国指定重要文化財となった本源寺

境内中央に本堂、東に庫裏が建ち、本堂北西には森家の墓石が並び、霊屋と霊屋表門があります。本堂は慶長12年(1607年)に上棟された方丈型の本堂で、屋根はいりもやくり、棧瓦葺です。正面などは改変されていますが、柱や梁組などの主要構造

は当初の様子をよく留めています。

慶長期にさかのぼる方丈型の本堂を中心として、庫裏、中門や、森家代々当主を祀る霊屋など、江戸前期までに整備された建造物が一体で残されており、地方における大名家菩提寺として建てられた臨濟宗寺院建築の初期の遺構として価値が高いとされています。

古代を見つめる 「陶棺シンポジウム」開催

美作国建国1300年記念事業「陶棺復元プロジェクトと美作の陶棺展」シンポジウムを、10月27日(日)に勝北文化センターを会場に開催しました。

シンポジウムに先立ち、津山市新野山形所在の水原古墳から出土した陶棺をモデルに復元した陶棺が公開されました。

この陶棺は勝北陶芸の里で、雄杉会会員の皆さんをはじめとした多くの方のご協力を得て製作されました。

次に、「陶棺の謎に迫る」をテーマに、岡山大学大学院

光本順准教授、奈良県立橿原考古学研究所編島歩技師ほかによる講演会や、パネルディスカッションが行われ、約200人の来場者は、陶棺の製作背景や、被葬者像などについて、熱心に聞き入っていました。



陶棺シンポジウム

日独スポーツ少年団 同時交流

日本スポーツ少年団では、40年前からドイツとの交流事業を行っています。今年も約120名のドイツ団員が、約20日間滞在しました。

中国地方へは16歳から19歳の10名が岡山県、山口県、広島県の3県を各4泊5日で訪問しました。最初の訪問県である岡山

県は、津山市が25年ぶりに受け入れをしました。

最初の2日間は、津山市のスポーツ少年団員70名と共に小豆島へ渡り、土庄町との交流会に参加しました。寒露、深夏祭り視察、海水浴、地引網、うどん作りなどを楽しみました。

津山市では、鶴山公園散策や津山商業高校にて書道・弓道の体験や、高校生との意見交換を行い、有意義な時間を過ごしました。

ドイツ団員は最初の訪問県ということで緊張していましたが、時間を正確に守り、真面目であり、朗らかで接しやすく、すぐに打ち解けることが出来ました。



日独のたくさんの仲間が触れ合いました

ほんの数日間でしたが、今回の交流を通して日独双方

の参加者にはたくさんの思い出と、強い絆が生まれました。

津山市立図書館で開催 ライブラリーコンサート ピブリオバトル

第1回ライブラリーコンサート
10月13日(日)にライブラリーコンサートを開催しました。

津山交響楽団弦楽四重奏の皆様による「カノン」などの「トトロ」などの演奏が図書館内に響き渡り、読書の手をとめて聴き入る利用者の姿も見られました。

第2回ライブラリーコンサートは3月23日(日)に邦楽で琴と尺八の演奏を予定しています。

第1回知的書評合戦ピブリオバトル
10月26日(土)に知的書評合戦ピブリオバトルを開催しました。

ピブリオバトルとは発表者が読んで面白かった本を持ち寄って1人5分間で書評を言い合い、会場の皆さんが一番読みたくなった本を投票でチャンプ本とする本

の紹介コミュニケーションゲームです。
今回は津山市内の高専と高校から10名の「参戦」があり、チャンプ本に伊坂幸太郎著『終末のフール』が選ばれました。



お気に入りの本の紹介を競いました！

発行 津山市教育委員会
(編集 学校教育課教育総務課)
〒708-8501
津山市山北520番地
TEL 0868-32-2112(直通)
FAX 0868-32-2157
E-mail: kyouiku@city.tsuyama.okayama.jp

教育委員会関係課：
教育総務課 学校施設課 学校教育課 保健給食課
生涯学習課 図書館 文化課 スポーツ課 子ども課